

令和4年度公立諏訪東京理科大学入学式 理事長祝辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日はこの場に、ご臨席はされておられません、保証人の皆様方にも、心からお慶び申し上げます。あわせまして、ご多用のなか、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様は厚く御礼申し上げます。

入学される皆さんは、ここで様々なことを学ぶことになります。

本学は、諏訪圏の茅野市を中心とした、岡谷市、諏訪市、下諏訪町、原村、そして富士見町の諏訪六市町村を設立団体とした公立大学であります。そして、この諏訪のエリアは、蓼科や八ヶ岳などの自然に囲まれた素晴らしい学修環境にあります。同時に、この諏訪圏は、国内でも有数なものづくりの企業が、集まった地域でもあります。本学では、この地域の皆様や、様々な企業様と連携した取り組みを行っています。

皆さんは、これから工学部に関わる様々な学習をしたいと思います。そして卒業研究では、イノベーションをもたらす研究や、実用に即した研究の取り組みなど幅広い実践の場面になります。こういった研究にかかせないものづくりの企業様が、この諏訪の地には、数多くあるということを感じておいて欲しいと思います。

デジタルトランスフォーメーションが進展している今、諏訪の地域に立地する大学ではありますが、都市や地方という場所を超えて、どこでも世界とつながっています。諏訪圏の企業でも、取引先のほとんどが海外である企業もめずらしくありません。ものづくりの企業は、どの企業も世界に向けて活動しています。本学は、アメリカやヨーロッパ、東南アジアの大学とも連携し、教育研究活動を行っています。海外への研修やインターンシップも盛んに実施してきました。コロナ禍もあり実際に海外で活動することは難しい状況になりましたが、遠隔システムを活用した海外大学との共同研究など、海外との交流は様々な形で継続して実施しています。

コロナ禍によりサプライチェーンがほころびを見せ、国連主導の国際平和も脅かされ、グローバルガバナンスが劣化している状況にあります。こうした事態を乗り越えるため、社会は、グローバルに活躍できる人材を求めており、また科学技術イノベーションによって資源外交に対応できる方途を見出そうとしています。皆さんには、それにこたえる「学び」を期待したいと思います。

また、将来のエンジニアには、自分で起業するという選択もあり、企業においても経営に関するマネジメント力が求められています。本学には、共通・マネジメント教育センターがあり、マネジメントのカリキュラムをもっています。工学の知識を学ぶとともに、将来のエンジニアにとって不可欠なマネジメントについての知識を身につけて頂きたいと思います。

皆さんが将来目指すところは多様な選択肢があります。幅広い知識を吸収し、実践的な学習を通して、主体的な大学生活を送って頂きたいと思います。先ほど申しましたように、こ

こは素晴らしい自然があり、歴史と文化に根ざした地域社会があります。皆さんには、この環境の中でぜひ自然と地域社会を感じて頂きたいと思います。

加えて、大学生活で、様々な状況を経験されると思いますが、皆さんは成人年齢が18歳になって初めて大学に迎える学生となります。

未成年という保護されていた状態から、契約等で自己責任を問われる立場に変わっています。こうした機会を狙った営業も多くなるといわれています。クーリングオフなど短期間のうちに対応しなければならないこともありますから、学生となって困ったことが何かあれば先生や職員へ気軽に声を掛けて、相談してください。様々な人と知り合い、皆さんの大学生活が、充実したものとなることを願っております。そして、明るく、楽しく、前向きな行動を期待しております。

本日は、皆さんご入学、誠におめでとうございます。

令和4年4月6日

公立大学法人公立諏訪東京理科大学
理事長 北原 政彦